

土壌分析センター[概要]

所在地…青森県青森市浪岡大字浪岡字細田49 面積…154.3㎡ 事業開始…平成21年4月

分析項目…下表のとおり

分析種別	分析一般		多量要素分析		項 目 の 意 味
分析項目	18項目	17項目	11項目	10項目	
品 目	水稲	園芸	水稲	園芸	
pH	○	○	○	○	土壌が酸性かアルカリ性かを見ます。
EC	○	○	○	○	土壌に肥料が残っているのかの指標となります。
石灰	○	○	○	○	作物体を丈夫にし、健全な体をつくる基となります。
苦土	○	○	○	○	葉緑素を形成し、光合成に必要不可欠となります。
加里	○	○	○	○	「実肥え」 ぜいたく吸収する特性があり、石灰・苦土の吸収を阻害します。
硝酸態窒素	○	○	○	○	作物のほとんどがとの窒素形態で根から吸収します。
アンモニア態窒素	○	○	○	○	微生物の働きによって硝酸態窒素に分解されます。
りん酸	○	○	○	○	「根張り」「開花・結実」に関与。土壌に吸収されやすく、過剰障害が出にくいです。
りん酸吸収係数	○	○	○	○	値が高いほど、りん酸が土壌に吸着されやすく、作物に吸われにくいです。
鹿植	○	○			土壌に含まれる有機物の量を示します。
CEC	○	○	○	○	土が肥料を捕まえておく力（保肥力）を表します。
ケイ酸	○		○		稲にとって必要不可欠。いもち病や倒伏防止、受光体勢の改善に役立ちます。
ホウ素	○	○			細胞壁の構造を安定化させます。
鉄	○	○			光合成における酵素、葉緑素の形成に役割を果たします。
マンガン	○	○			光合成に関与します。
銅	○	○			葉緑素の形成、傷の保護作用。高pH、りん酸過剰により光合成をしづらくなります。
亜鉛	○	○			光合成の補足となります。
モリブデン	○	○			硝酸からE硝酸への還元酵素です。